

2018年度 8月 理事会議事録案

1日時：2018年8月23日（木）19:07～21:38

2場所：神奈川県作業療法士会事務所

3理事会定数

出席理事：錠内・木村・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・玖島・遠藤・野本・名古屋
作田・澤口・村越・佐藤・大郷 計16名

欠席理事：野々垣 1名

出席監事：糊澤 1名

欠席監事：田中 1名

その他：池田・宮沢

4議長団選出

議長：錠内会長

副議長：金山事務局長

議事録署名人：佐々木理事・糊澤監事

5配布資料

(1) 資料1 2018年8月23日理事会 各部・委員会提出資料

(2) 資料2 三役 次期中長期計画の提案
ウェブサイト 更新件数
公益法人化対策 大阪PT士会資料
渉外報告

(3) 神奈川県作業療法士会「ブロック化」構想案について

6回覧資料

(1) 兵庫県作業療法士会機関誌「平成29年度兵庫県作業療法士会機関誌第7巻」

(2) 岡山県学童保育連絡協議会 実例集

(3) 北海道作業療法士会ニュース・北海道作業療法第35号2号

(4) 公益社団法人神奈川県病院協会 平成29年度会計及び事業報告

7審議事項

(1) 重点課題の要旨

1) 三役

①2020年度からの目標について

三役より上位下達ではなく、各理事と相談しながら目標を決めていきたいこと、当会の定款に基づき、直接的に県民の保健・医療・福祉の向上につながるような活動をしていくことを課題としていると説明あり。理事からは、県士会の運営の方針を三役から提示してもらったほうが事業計画を立てやすいこと、過去4年間の活動に関する達成の度合いの調査や評価を参考に目標の再設定をする必要があること、評価の指標を設けるべきなどの意見が出た。三役が（具体的な）今後の県士会運営のビジョン、達成目標、計画を再検討することとなる。

(2) 審議項目の要旨

1) 事務局

①後援依頼の承認について

例年後援しているものはイベント終了時に理事会報告。翌年は事務局長判断で承認、理事会で報告。新規依頼に関しては理事会審議。今年度中に規定を作成し次回総会で承認。

②ブロック化検討委員会

現在の状況を説明。今後はブロック化ではなくエリア化検討委員会とする。

2) 学術部

①研究助成に関する補正予算について

2件を想定していたが3件募集があり、すべて条件を満たしているため3件を承認したい。そのため補正予算10万を申請し、50万としたい。⇒承認

3) ウェブサイト管理委員会

①SSLサーバー証明書 更新について

現状の契約より価格が安い「JPPSドメイン認証型SSL」に変更する。⇒承認

8 審議内容（詳細）

(1) 三役

1) 重点課題

①2020年度からの目標について

(ア) 三役からの説明

- ・上位下達ではなく、各理事と相談しながら目標を決めていきたい。
- ・提案した内容は2015年～2018年の4年間の目標を改変したものである。
- ・当会の定款に基づくものであり、作業療法士の育成だけでなく当会の事業が直接的に県民の保健・医療・福祉の向上につながるような活動をしていくことを課題としている。

(イ) 意見交換

- ・目標は達成度の見直しをしていくもの。今期の目標からの見直しが全くされていないため納得はできない。県士会としての、各部が向かっていく為の目標を提示してほしい。

(神保)

→達成度については、今後業務評価を行っていく。(会長)

- ・達成水準、数値水準が入っておらず、各部が具体的にどう動いて良いかわからない。(棚澤)
 - ・各部の活動に対するアウトカムがないので積み重ねが出来ない。(佐々木)
 - ・目標について、部によって関わる部分が異なってくる。今後は県民に対する活動を1番優先にできると良いのでは。(玖島)
 - ・目標に沿った活動をしていこうと思っている。(野本)
 - ・神奈川県独自のアイデアやビジョンを出してほしい。(神保)
 - ・目標値を設定した方が良いのでは。(村越)
 - ・目標になっていない。目標なのか？理念なのか？ビジョン、目標、計画について三役で話し合っただけで明確に出してほしい。その内容について理事会で話し合っていく方がスムーズでは。(佐藤)
 - ・スローガンの文言を決め、優先順位を決め、各部がどこに向かっていくべきかを提示してもらえると良い。(佐々木)
 - ・何に力を入れていくか、年度毎に比重を決めた方が良い。4年だけでなく2年の目標があった方が良いのでは。2年目標はより具体的に。(名古屋)
 - ・目標ではなく、重点課題という形で提示しても良いのでは。(大郷)
- 三役が(具体的な)今後の県士会運営のビジョン、達成目標、計画を検討する。

2) 報告

①今後の三役会理事会について

8月10日三役会 8月23日理事会

10月4日三役会 10月18日理事会 次年度計画についてプレゼン

10月25日臨時三役会 ヒヤリング

11月7日臨時三役会 11月27日臨時理事会 次年度事業計画、予算案

→例年より早い検討の理由は、年度初めから事業展開ができるよう、総会の開催を早めたこととの意図もある。

(2) 事務局

1) 審議項目

①後援依頼の承認について

現在理事 ML にてすべて審議・承認しており煩雑のため、例年後援しているものと新規をわけ対応することを提案。新規は従来通り理事会審議とし、例年のものはイベント終了後の理事会で報告・審議。次年度依頼時は後援とし、理事会報告する。今後は今年度中に規定を作成、次回総会で承認予定。規程・申請書・報告書のフォーマットをウェブサイトからダウンロードできるように整えていく。 ⇒ 承認

②ブロック化検討会からの報告

今までの経過を報告。今後目指す方向を確認する。

(ア) 名称について エリア化準備委員会とし、「Team KANAGAWA」と呼称する。

(イ) 今後について 2019年度からは特設委員会としたい。

3) 報告

①協会

(ア) 公益社団法人 福岡県作業療法士会役員改選 会長 竹中祐二氏 (新)

(イ) 一般社団法人 兵庫県作業療法士会役員改選 会長 長尾徹氏 (新)

(ウ) 公益社団法人 新潟県作業療法士会役員改選 会長 四方秀人氏 (新)

(エ) 一般社団法人 徳島県作業療法士会役員改選と事務局変更 会長 岩佐英志氏
事務局 リハビリテーション大神子病院 (新)

(オ) 一般社団法人 高知県作業療法士会役員改選 会長 平松真奈美氏

(カ) 一般社団法人 山口県作業療法士会 会長 木下大介氏

(キ) 一般社団法人三重県作業療法士会 事務局変更
ユマニテク医療福祉大学校→小山田記念温泉病院

(ク) 一般社団法人岩手県作業療法士会 役員改選 会長 藤原瀬津雄氏

(ケ) 一般社団法人長野県作業療法士会 役員改選 大月肇氏
事務局変更 くろさわ病院→長野赤十字病院

(コ) 第11回山梨県作業療法学術大会 2018年12月9日(日) 山梨英和大学

(サ) 第21回群馬県作業療法学会 2018年12月2日(日) 群馬大学大学院保健学
研究科

(シ) 平成30年度在宅リハビリテーション従事者研修会～通所リハ・通所介護編～周知
依頼 2018年10月20日(土)～21日(日) 田町イーストウイングビル6階

(ス) 平成30年度第2回47員会都道府県委員会(延期分)10月7日のみ TKP 東京
駅八重洲カンファレンスセンター 澤口理事出席

②県

(ア) 神奈川県介護予防事業ワーキンググループ委員 木村副会長が継続

(イ) 神奈川県エイズ対策推進協議会 引き続き錠内会長で登録

(ウ) 国立障害者リハビリテーションセンター「平成30年度作業療法士研修会」周知依
頼 2018年10月10日(水)～12日(金) 国立障害者リハビリテーションセンタ
ー

③医療職連合会

(ア) 一般社団法人神奈川県臨床検査技師会役員改選 会長 片川一之氏

(イ) 公益社団法人神奈川県栄養士会役員改選 会長 西宮弘之氏(新)

(ウ) 一般社団法人神奈川県臨床工学技士会 役員改定 会長 小林剛志氏(継続)

④関係団体

- (ア) 平成 30 年度三浦市医師会 在宅医療ミーティング「認知症の人の QOL を考える」
2018 年 9 月 14 日 (金) 19:00-21:30 ホテルマホロバマイズ三浦 13 会議室
- (イ) 公益社団法人神奈川県病院協会 平成 30 年度第 2 回学術委員会の開催について
2018 年 9 月 5 日 (水) 16:15- 神奈川県病院協会会議室
- (ウ) 第 37 回神奈川県病院学会 運営協力依頼 (会場設営・誘導) 2 名
2018 年 11 月 12 日 (月) 13:00-18:00 神奈川県総合医療会館
- (エ) 第 37 回神奈川県病院学会 シンポジスト確認
- (オ) 公益社団法人神奈川県介護福祉士会 会長変更 コッシュエイシイ美千代氏
- (カ) 国立障害者リハビリテーションセンター「平成 30 年度頸髄損傷者に対するリハビリテーション研修会」周知依頼

⑤後援

- (ア) 後援名義使用事業終了報告 「第 28 回日本臨床工学会および平成 30 年度公益社団法人日本臨床工学技士会総会」報告あり。内容に問題なし。
- (イ) 「第 48 回日本リハビリテーション工学協会車いすSIG講習会」後援 MLにて審議済
- (ウ) 神奈川県保険医協会「第 22 回医療・健康フェスティバル」2018 年 10 月 21 日 (日)
13:00-16:00 新都市プラザ 昨年後援済み

⑥その他

- (ア) 高校生の施設見学希望について 本年度は 1 件のみ。8 月 24 日に大郷理事の施設「リノア」に依頼。
- (イ) 蛍光灯の交換について
現在使用中の蛍光灯が製造中止のため、LED に交換予定。
LED と配線工事代で 1 本約 6000 円。今年度半分の 9 本を目途に変更予定。
- (ウ) 社労士との打ち合わせ
2018 年 8 月 3 日事務所にて実施。就労規則について作成依頼。

(3) 財務部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①会議参加 6/28 エリア化会議、7/5 臨時三役会、7/12 エリア化会議、7/31 公益会議

(4) 学術部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目

①研究助成に関する補正予算について

2件を想定していたが3件募集があった(若手2件、一般1件)。すべて条件を満たしているため3件を承認したい。40万で予算を組んでいたが50万(14万、20万、20万)とし全員を対象としたい。10万の補正予算申請について審議依頼。⇒承認

3) 報告

①スキルアップ研修事業

(ア) 作業療法士のはじめの一步～新人のうちに身につけたい作業療法の専門性～

友利幸之助氏(東京工科大学保健医療学部准教授 作業療法士)

2018年6月17日(日)9:30-14:00 場所:イムス横浜国際看護専門学校

参加数:78名

(イ) 入院治療と地域支援をつなぐ 私たちができる精神科作業療法とは

棚澤直美氏(湘南医療大学保健医療学部准教授 作業療法士)

2018年9月2日(日)13:30-16:30 場所:ハーモニーとよおか3階会議室

参加数:60名(予定)

(ウ) CI療法の理論と実践

高橋香代子氏(北里大学医療衛生学部教授 作業療法士)・竹林崇氏(吉備国際大学保健医療福祉学部准教授 作業療法士)

2018年9月24日(月・祝日) 場所:北里大学 IPE 棟大講堂

参加数:200名(予定)

(エ) 高次脳機能障害の作業療法について(仮)

森下史子氏(済生会横浜東部病院 作業療法士)

2018年10月20日(土) 場所:済生会神奈川県病院

参加数:100名(予定)

(オ) 関節リウマチの治療・スプリント療法について(仮)

中西理佐子氏(横浜南共済病院 作業療法士), 医師, 薬剤師(予定)

2018年11月23日(金・祝日) 場所:横浜南共済病院会議室

参加数:50名(予定)

(カ) 認知症のリハビリテーションについて(仮)

渡邊信介氏(特別養護老人ホーム マナーハウス麻溝台 作業療法士)・小滝治美氏(初富保健病院 理学療法士)(予定)

2018年12月9日(日) 場所:ハーモニーとよおか3階会議室(予定)

参加者:40名(予定)

(キ) セラピストのための研究の第一歩～研究とは?研究デザインとは?～(仮)

内田健太郎氏(北里大学医学部整形外科学講師 医学博士 臨床工学士)

2018年12月8日(日)(予定) 場所:イムス横浜国際看護検問学校

参加数:70名(予定)

(ク) 脳血管疾患に対する運動機能改善のアプローチ(仮)

田邊浩文氏（湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科教授 作業療法士）

2019年1月20日（日）10:30-16:30（仮）会場：横浜 YMCA 学院専門学校

参加数：30名（予定）

（ケ）クライシスプラン&リスク管理（仮）

星竜平氏（訪問看護ステーションみのり横浜 作業療法士）・武井寛道氏（藤沢病院 作業療法士）・立山和久氏（久里浜医療センター 作業療法士）予定

2019年2月（予定） 場所：藤沢市民会館（予定）

参加数：40名（予定）

②学術誌「神奈川作業療法研究」の新編集部の設立と活動報告

（ア）現在

編集部（幅田編集長、編集部員4人計5名）で運営体制としている。今後も編集部員を募集し長期的に安定した編集部の確立を目標とする。

（イ）上半期（現在）までの活動報告

7月までに計5回の会議を行った（今後は月1-2回 県士会事務局で開催予定）。

ア）編集部員の動向

編集部の組織図の作成（編集部の作業の明確化）

イ）査読委員の動向

- ・委嘱期間中の査読委員は今年度も継続し、査読を実施する
- ・新規の査読委員を選出する基準案を作成した（今年度、選出基準を明確化する）
- ・投稿内容に応じ新規査読委員を3名増員した

ウ）投稿から査読までの流れおよび投稿・執筆規定の改定

- ・投稿から入稿までは、これまでの編集方針を踏襲する
- ・投稿原稿チェックリストの改定（投稿時、著者自身によるチェック内容の追加）
- ・投稿および著作財産権譲渡承諾書の改定（会員番号、E-mail アドレスを追加）
- ・投稿・執筆規定の改定（投稿区分の変更、研究倫理、利益相反、論文執筆支援制度の追加）

エ）編集部の移設作業

- ・これまでの編集部は編集部長が所属する施設を編集部の住所としていたが、神奈川県作業療法士会事務局と同住所とした

オ）論文執筆支援制度

- ・制度利用者1名（制度ができてから初の利用者となり、編集部にて対応）
- ・論文執筆支援制度の内容について、支援の範囲を確認した（原則、執筆支援とする）
- ・論文執筆支援制度申請書を作成した

カ）神奈川作業療法研究（Vol.9）の発刊に向けて

- ・雑誌構成（ページ割り当て）を検討した

キ）編集部会計および予算

- ・事務局に神奈川県作業療法士会会員の動向数の変化を確認し、見積もりを依頼した
- ・本年度分（Vol.9）発刊のための予算立てを検討した
- ・他の編集部に必要な諸経費、取材関連費、校正関連費の仮予算立てを検討した

（ウ）下半期の検討課題・見通し

- ・論文執筆支援制度の運用規定について
- ・査読委員の選出基準の明確化について
- ・新規査読者・編集部の募集(県士会 web での募集方法も含めて) について
- ・査読者に対する研修会の開催(研究倫理、ハラスメント等の研修) について
- ・県士会 HP による情報提供の仕方について
- ・メディカルオンライン(パスワードの取り扱いについて規定、運用) について
- ・リポジトリの取り扱いについて
- ・バックナンバーの管理(希望者へ購入など方策を検討) について
- ・編集部内規・研究倫理規定の作成(2 年度かけて完成) について
- ・編集部組織図、作業フロー作成 (今年度末までを目処に完成させる) について
- ・文書・画像ファイルの管理方法 (バックアップおよび廃棄の方法) について
- ・投稿ファイルのサーバー管理について
- ・研究倫理、著作権の文書の保存方法 (セキュリティやファイリング方法など) について
- ・編集部が出す定型文書の雛形作成について
- ・安定した投稿論文数確保のための方策の検討について

（5）教育部

1) 重点課題 なし

2) 審議項目 なし

3) 報告

①現職者共通研修 定員：各 80 名 受講料：1 テーマ 1,000 円（当日徴収）

（ア）第 1 回 2018 年 10 月 7 日（日）場所：ウィリング横浜

ア)「作業療法生涯教育概論」9：30－11：00 奥原孝幸氏（県士会 教育部理事・神奈川県立保健福祉大学）

イ)「作業療法の可能性」11：10－12：40 錠内広之氏（県士会 会長・日本鋼管病院）

ウ)「実践のための作業療法研究」13：40－15：10 作田浩行氏（昭和大学）

エ)「保健・医療・福祉と地域支援」15：20－16：50 田中ゆかり氏（藤沢市保健医療センター）

（イ）第 2 回 2018 年 10 月 14 日（日）場所：ウィリング横浜

ア)「職業倫理」12：30－14：00 榎澤直美氏（湘南医療大学）

イ)「作業療法における協業・後輩育成」14：10－15：40 岩上さやか氏（国際医療福祉

大学)

ウ)「日本と世界の作業療法の動向」15:50-17:20 神保武則氏(北里大学病院)

(ウ)第3回2018年12月23日(日)場所:ウィリング横浜

ア)「事例報告と事例研究」13:00-14:30 水野健氏(昭和大学附属烏山病院)

(エ)「事例検討」、「事例報告」2019年3月10日(日)ウィリング横浜

②事例報告登録制度に関する研修会2018年12月23日(日)14:45-16:15

奥原孝幸氏(OT協会教育部生涯教育委員会生涯教育制度推進担当・県士会教育部理事・
神奈川県立保健福祉大学)

定員:80名 受講料:無料(他県士会1,000円) 場所:ウィリング横浜

③現職者選択研修 参加費4,000円 場所:ウィリング横浜

(ア)「身体領域の作業療法」2018年12月16日(日)

(イ)「精神障害領域の作業療法」2019年2月24日(日)

(6)広報部

1)重点課題 なし

2)審議項目 なし

3)報告

(ア)ニュース班

ア)順調に年6回発行を実施できている。

イ)現状は10月号(9月末発行)を準備中。

ウ)記事掲載希望について 記事に関する要望、相談があれば連絡。

(イ)対外広報班

ア)ヨコハマヒューマンテクノランドブース出展 2018年7月20日・21日

作業活動体験(和紙のしおりづくり)・作業療法紹介・パンフレット配布・アンケート

ブース来場者 約120名(パンフレット配布・作業活動体験含む)

アンケートは現在集計中

イ)ビックレスキュー神奈川 2018年8月26日

海老名市運動公園、神奈川県理学療法士会県央地区担当と合同ブース出展

災害支援に関する活動報告や、災害時に活用できるトイレ・ベッド(段ボールベッド)の紹介

ウ)神奈川新聞介護フェア ブース出展

エ)かわさき介護いきいきフェア ブース出展

オ)中区民祭り ハローよこはま 医療専門職連合団体で合同ブース出展

カ)神奈川県介護支援専門員研究大会 ブース出展

キ)地域リハフォーラム(神奈川県リハビリテーション事業団主催)

(7) 福利部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

(ア) 求人掲載(2018.6.21~8.6)

新規掲載：22件、変更：1件、削除：4件

(イ) 新入会員オリエンテーション名称変更について

福利部部員内で一度検討を行い、後に理事会にて承認を得る予定。

(8) 地域リハビリテーション部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①研修会企画

(ア) 多職種精神保健セミナー2018年11月11日(日)横浜市総合保健医療センター

(イ) 特別支援教育など講習会 2018年11月4日(日)横浜リハビリテーション専門学校

(ウ) 地域リハ人材育成研修会(介護予防編)2018年10月28日(日)ウイリング横浜

(エ) 地域リハ人材育成研修会(地域ケア会議編)2018年11月4日(日)横浜YMCA学院専門学校

(オ) 地域包括ケアシステム三団体合同研修会 2018年2月24日(日)会場未定

(カ) 難病リハビリテーション講習会 2018 2019年2月10日(日)予定 ウイリング横浜

②神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

(ア) 地域リハビリテーション連絡会活動助成金

決まりを作り、各連絡会へ助成金を出す方向で調整。

(イ) 研修会報告

ア) 訪問リハビリ実務者研修会

2018年7月7日~8日 横浜リハビリテーション専門学校

参加者：55名(うちOT 17名)

(ウ) 研修会予定

ア) 医療介護連携研修会(仮)「訪問リハと病院の連携の実際」

2018年12月1日 AP横浜駅西口予定 定員：60名予定

③その他

(ア) 県の生涯教育推進事業

今年度の事業計画書、見積もりを提出中。

- (イ) OT 協会主催地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会報告 2018年7月21日～22日
地域ケア会議をはじめとする地域支援事業について、士会の人材育成研修会の内容に盛り込む。

(9) 制度対策部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①福祉用具関連事業班

- (ア) 福祉用具に関する会員向け研修会

第2回 2018年7月28日 開催 参加8名

第3回 2018年9月2日、第4回 2018年11月4日、第5回 2018年12月1日
現在募集中

*7月28日研修開催時に台風12号接近による交通機関乱れ等予測され受講生から「開催はあるのか」の問い合わせがあった。当日はPT士会共催研修のため逐次PT士会担当者と相談し対応を決め予定より40分早い終了とした。今後荒天時の対応についての取り決めが必要と考えている。

- (イ) 福祉用具に関する情報提供、相談支援

- ア) 福祉用具相談支援システム

会員向け案内のため事業説明のチラシをニュース10月号封入予定。

- イ) 生活行為工夫情報モデル事業

6月23日モデル事業参加県での連絡会へ出席(長田・沼田)。現在モデル県で収集している投稿事例の著作権を協会から各県士会へ移行作業をすすめる。これにより各県士会の判断で投稿された事例の活用が可能(印刷物にするなど)。

- ウ) ブログの活用 引き続き適宜発信。

- (ウ) 他団体からの要請協力

- ア) H.C.R(10/10～10/12) 例年通り「ふくしの相談コーナー」への人員派遣の予定。

②社会保障制度対策班

- (ア) 自動車運転とOTに関して

ネットワークづくりを目指し、有志メンバーと意見交換会を実施(7/6)

「運転と作業療法ネットワーク@かながわ」という通称で、有志メンバー(現在、7病院のOT参加)とのネットワークを構築中。

神奈川県警で、47都道府県初のOTの採用があり、今年の6月から勤務。

次のミーティングを、神奈川の免許センターにて、10月に実施予定。

(イ) 日本作業療法士協会の情報配信等を県士会ブログへ掲載 6月4回 7月2回

③災害対策班

(ア) 8月26日 「びっぐレスキュー神奈川(平成30年度神奈川県・海老名市合同総合防災訓練)」にて、広報部対外広報班と協力しブース出展予定。

(10) ウェブサイト管理委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議項目

①SSLサーバ証明書 更新について

県士会サイトではセキュリティ強化のために常時SSL化(有料サービス)を導入している(2017/9 理事会承認)。

(ア) 現契約

SSL ラピッドSSLRS(1年)が2018年10月3日で終了。1,620円/1年、2,916円/2年。

(イ) 提案(証明書の切り替え)

契約しているレンタルサーバー会社が認証レベルは同様のまま価格が安い「JPRS ドメイン認証型SSL」の提供を開始した。「JPRS ドメイン認証型SSL」への切り替えを提案する。972円/1年、1,836円/2年。

3) 報告

①各部署のページの更新(2018年度版への書き換え)依頼

9部署更新済。まだのところは早急に対応する。

(11) 公益法人化対策委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議項目 なし

3) 報告

①県士会運営側に関連する部署の対策会議 7月31日(火)

- ・事務局、財務部、規約委員会、福利部、公益法人化対策委員会にて開催。
- ・検討された主な内容:「公益事業の執行率を出す」こと、財務諸表の変更について
- ・「公益事業か否か」の指標について→当会は公益事業で何をしたいのか、会としての目標や役割をどう捉えているかなど共有が先。「神奈川県士会版」の公益事業を作成していく。

②公益化に向けたロードマップ作り

前回の理事会で「公益化はするとは決まっていなかったが、公益事業は増やす」という確認があった。先に「公益化の執行率が会員にも一目でわかる財務諸表への変更」ならびに「事業ごとに算出する」など会計諸表の変更(ならびに当会における公益事業の細目づくり)

が先行と結論づいた。細目づくりと合わせ、次回の本会議で検討していく。

(1 2) 学会評議委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①第 3 回神奈川県臨床作業療法大会 開催報告

2018 年 7 月 29 日 (日) はまぎんホールヴィアマーレ

シンポジウム 283 名、口述発表 175 名 (134 名、県外 OT9 名、学生 32 名)

西日本災害募金¥25,687

②第 17 回神奈川県作業療法学会について

9 月初旬に実行委員会を開催予定。

(1 3) 認知症対策委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①認知症アップデート研修会開催

2018 年 7 月 1 日 (日) 横浜リハビリテーション専門学校 55 名参加

(1 4) 地域包括ケアシステム推進委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①横浜市地域リハビリテーション活動支援事業について

平成 31 年度の派遣回数を調整中。横浜市からは増やしてほしいとの依頼あり。

②横浜市介護予防人材の育成講座について

介護予防グループ活動において、介護予防プログラムをリードする人材を育成する。

今年度はモデル事業として中区と青葉区で実施。当委員会は資料作成と講座での講演で協力することになった。

③地域リハビリテーション活動支援事業研修会 (横浜市主催)

2018 年 12 月 13 日 (木) 19:00-20:30 場所: 横浜市社会福祉センター

PT、OT、ST 対象 人数: 100 名

④地域包括ケアシンポジウム (委員会主催)

堀越啓仁氏 (OT, 衆議院議員)、露木照彰氏 (PT, 県士会理事)、山出貴宏氏 (介護福祉士)、鈴木真氏 (介護福祉士)、横山太郎氏 (医師)

2019年1月13日(日) 14:00-17:00 場所: あーすぷらざ
費用: 会員 1,000 円、会員外 2,000 円

9次回理事会日時・場所

- (1) 三役会開催日 2018年10月4日(木) 19:00~
- (2) 理事会開催日 2018年10月18日(木) 19:00~
- (3) 会場 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務局

以上(文責: 宮沢・池田・金山)

議事録署名人	議長:	錠内 広之	印
	理事:	佐々木 秀一	印
	監事:	榑澤 直美	印